（こくごさんすう）学習指導略案

１．　日時・場所：１２月８日（木）１０：００～１０：４０・小学部２年３組

２．　学年・グループ：２年生児童（３名）めろん１グループ

３．　担　当：◎野見山　安田

４．　単元(題材)名：でんしゃごっこ

５．　単元目標

（知識・技能）

・身近な言葉がわかる。（自分の名前、座る、入れるなどの簡単な言葉）

・具体物に気づき、つかもうとする。

（思考・判断・表現）

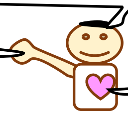
・着席して話者に注目し、表情や身振り、発声等で応答しようとする。

・教員と手を合わせたり、具体物の形を捉えて箱に入れたりしようとする。

(学びに向かう力・人間性)

・自分から活動に取り組もうとする。

・あそびを通して、教員とかかわろうとしたり、意思の表出をしようとしたりする。



６．単元の評価規準　◎本時の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・身近な言葉がわかっている。◎ ・具体物に気づき、つかもうとしている。	・着席して話者に注目し、表情や身振り、発声等で応答しようとしている。◎ ・教員と手を合わせたり具体物の形を捉えて箱に入れたりしようとしている。◎	・自分から活動に取り組もうとしている。 ・あそびを通して、教員と関わろうとしたり、意思の表出をしようとしたりしている。◎

７.本時の目標：(自立活動)・一定時間、姿勢を保持し椅子に座ることができる。

国語・自分の名前がわかり、表情や身振り、発声等で応答しようとする。(知・技)　(思・判・表)

算数・カードを所定の位置に貼ったり、箱に入れたりしようとする。(思・判・表)

・好きな活動（バランスボール／トランポリン）を選ぶことができる。(学・人)

７．　展　開　（１０(本時)／１２(全時間))

時間	内容	指導上の留意点
０	１、はじまりのあいさつ ・予定の確認	・集中できるように座席を配慮する。 ・活動内容をイラストで示して、内容と終わり（おしまいボックスに入れて、なくなる）が視覚的にわかるようにする。
３	２、ふれあいあそび 「こちょこちょでんしゃ」 ・教員と手を合わせる。 ・かかわりを受け入れる。	・児童の好きな体勢でリラックスして活動できるようにする。様々な体の部位を刺激し、体への感覚を高められるようにする。教員との手つなぎから、徐々に教員と手を合わせるようにする。
１３	３、なまえ ・呼名に応じる。 ・電車の枠内に写真カードを貼る。	・手本を見せる。写真カードは厚みをつけて操作しやすいようにする。カードを貼る位置がわかりやすいように、枠に色を付ける。
２０	４、えほん 「れんけつ　ガッチャン」	・注目しやすいように、絵本を紙芝居にして内容を絞って提示する。「コトコト」「ガッチャン」等繰り返しの言葉を大切に抑揚をつけて読み聞かせする。
２５	５、でんしゃごっこ ・切符をつかむ。 ・切符を教員に手渡す。 ・電車になってあそぶ。 ①　トンネルくぐり ②　トランポリン／バランスボール	・２つの容器を用意し、切符を一方に入れて提示する。切符に気づいて、つかんで教員に手渡すように促す。(ある、ない) ・電車（四つ這い）になって、いろいろな感覚運動あそびに取り組み、姿勢保持やバランス感覚を養えるようにする。 ・音楽を流して、楽しい雰囲気づくりをする。 ・課題の最後に好きな活動を設定し、どちらがしたいか選択する機会をつくる。(意思の表出)
４０	６、ふりかえり おわりのあいさつ	・気持ちを表す言葉をイラストと共に提示して、児童の気持ちを代弁する。

準備物：予定カード、音源、顔写真カード、電車枠、トンネル、トランポリン、バランスボール

和泉支援学校　児童生徒の「キャリアプランニング・マトリックス」　令和３年度

能力領域	各段階で育てたい力	１段階	２段階	３段階	４段階	主な自立活動の観点
人と［人間関係形成］	自他の理解	①自分のことがわかる。 ②他者の存在に気づく。	①自分の良いところを知る。 ②友だちと仲良く遊ぶ。	①相手の気持ちや考えを感じる。 ②様々な体験を通して自信をつける。	①相手のことを考えて行動しようとする。 ②自分や友だちの長所や短所に気づき、互いの個性として認め合う。	心理的な安定 人間関係の形成 コミュニケーション
	集団参加	①大人とのやりとりを通して学級集団に参加する。 ②大人とのやりとりを通して様々な規模の集団に参加する。	①集団活動に参加し、みんなと同じ活動に取り組むことができる。 ②ルールを守って集団活動に参加する。	①友だちとのやりとりを通して集団活動に参加する。 ②集団における役割を理解し、協力する。	①様々な人との活動に取り組む。 ②社会の一員としての役割を理解し、遂行する。	
	意思表現	①快・不快を表す。 ②自分の好きなこと、嫌いなことを表現する。	①困った時に助けを求めることができる ②気持ちや要求を伝えることができる。	①必要な支援を求める。 ②自分の気持ちを具体的に説明する。	①自分の意思や気持ちを相手に適切な方法で伝える。 ②必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる。	
社会へ［情報活用・将来設計］	情報への関心	①身近なものへ関心をもつ。	①様々なことを経験して関心をもつ。 ②分からないことを聞くことができる。	①社会の様々な情報に触れ、興味・関心をもつ。 ②進路を意識して視野を広げるために情報を収集して活用する。	①SNSや友だちとの会話の中で情報を適切に判断する。 ②学んだり体験したりしたことと、自分の生活や職業との関連を、多面的に情報を集めて考える。 ③職業生活、社会生活に必要な事柄の情報を収集し活用する。 ④職場見学や実習を通していろいろな職業や生き方があることを知る。 ⑤実習を通して、働く場と学校の違いを知り、社会参加する。	環境の把握 健康の保持 身体の動き 心理的な安定 コミュニケーション
	社会資源の活用	①日常生活に必要な簡単なルールを知る。	①公共施設や公共交通機関を活用した生活経験を増やす。	①社会生活に必要なルールや仕組みを理解し、実践する。	①社会の様々な制度やサービスを利用し、ルールやマナーを踏まえたうえで、実際の生活で利用する。 ②図書やインターネットを積極的に活用し、自分に必要な情報を収集する。 ③社会の法制度や福祉サービスの活用の仕方や手続きを知る。 ④働く上で必要なルールやマナーを理解する。	
	消費生活	①大人と買い物に行く。	①体験を通して、金銭のやりとりに関する簡単なルールを知る。 ②お金の大切さを知る。	①金銭の使いかたを知る。 ②金銭の基本的な管理の方法を知る。	①労働と報酬の金銭関係を知る。 ②労働と報酬の関係を理解するとともに、消費生活について考える。	
	社会的役割	①身近な係活動や役割について知る。 ②手伝いなど目的のある行動ができる。	①様々な活動を経験し、好きなこと、楽しいことを見つける。 ②係活動等における役割を理解し、最後までやりきる。 ③決められた時間やきまりを守る。 ④将来についての憧れをもつ。	①社会にはいろいろな職業があることを知り、興味・関心をもつ。 ②働くことに関する取組みを経験する。 ③様々な職業の社会的役割を理解する。 ④将来についての夢をもち、将来の職業について考える。	①卒業後の社会人生活に関心をもつ ②自分の社会的役割を理解し、責任をもって行動する。 ③仕事や働くことに積極的に取り組み、働くことのやりがいや楽しさを知る。 ④自分に適した職業を考える。 ⑤働く生活を中心とした新しい生活に期待を持ち、そのための準備をする。 ⑥自分の意志で好きなことをする時間をもつことにより、仕事や生活に張りがでることを知る。	
	習慣形成	①規則正しい生活リズムを送る。 ②活動の準備や片づけをする。 ③あいさつや返事をする。 ④体を動かして、あそぶことを楽しむ。	①学校・家庭生活に必要な習慣を身につける。 ②身だしなみに気をつける。 ③あいさつの習慣をつける。 ④様々なあそびや活動を通して、体の動かし方を身につける。	①学校・家庭生活に必要な習慣を自主的に行う。 ②身だしなみを整える。 ③状況に応じた言葉遣いやふるまいを知る。 ④運動習慣を身につけ、適正なからだ作りを行う。	①社会生活、職業生活に必要な習慣を理解し身につける。 ②場に応じた清潔や身だしなみについて理解し、実行する。 ③状況に応じた言葉遣いやふるまいをする。 ④健全な社会生活を送るため、体調・体重管理を行う。	
自分で［意思決定］	目標設定	①自分のことは自分で行おうとする。	①目標を意識して活動しようとする。 ②自分の役割を最後までやり通そうとする。	①自分の将来について考えることができる。 ②目標を実現するための主体的な計画を立てる。 ③自分の仕事に対して責任をもち、最後まで行うことができる。	①自らの判断で目標を決める。 ②将来の目標実現に向けて方法や進め方、時期を考え、計画を立て実行する。 ③将来設計や進路希望の実現を目指した目標の設定とその解決に取り組む。 ④自分の課題を理解し、その解決に向けて取り組もうとする。	心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身体の動き
	自己選択	①あそびや活動に取り組むことができる。 ②自分の好きなあそびや活動を２択から選ぶことができる。	①自分の好きなあそびや活動を複数の中から選ぶことができる。 ②状況や問いに応じたものを選ぶことができる。	①様々な活動の中から自分のやりたいことを進んで選び、取り組むことができる。 ②将来の働く生活について考え、選択肢を広げる。	①実習などの体験に基づく進路選択や卒業後の進路先を選ぶことができる。 ②自己の個性や興味・関心に基づいて、主体的な選択をしようとする。	
	振り返り・自己調整	①達成感を味わう。 ②興味・意欲・関心をもつ。 ③好き嫌いがわかる。	①活動の振り返りができる。 ②色々なことに取り組もうとする。 ③好き嫌いを選ぶことができる。	①活動場面での振り返りとそれを次に活かそうと努力する。 ②課題解決のための選択肢を活用する。 ③自分の得意、不得意を知る。	①実習などの活動の自己評価をする。 ②将来に希望をもち、実現に向けて自己の課題を主体的に克服しようと努力する。 ③自らの課題に気づく大切さを理解し、より良い社会生活、進路決定をめざす。 ④課題解決のために様々な選択肢があることを理解し、活用する。	

狙いに線を引く